

今年もサンタがやってきた 「いつまでも素直で優しく」願いを込めて



子ども部屋の前はイルミネーションで賑やかに

皆様、明けましておめでとうございます。昨年も本当にたくさんの方々に支えられ、無事に1年を終えることが出来ました。今年も元気いっぱいの子もたちと、夢追う子どもたちの家をどうぞよろしく願い致します。

新年を迎え、子どもたちは昨年の自分を振り返り、今年の抱負をたてました。去年卒園した子どもたちも全員進路が決まり、それぞれの道を歩み始めました。高校3年生は今年が勝負、皆にとって実りのある1年になることが職員全員の願いです。

今回のDream通信では、12月のクリスマス会の様子、高校3年生の勉強の様子、新入園児2名の紹介を致します。

12月25日 クリスマス会

カンボジアもクリスマスが近づくと、街にはイルミネーション、お店にサンタクロースの衣裳が並びますが、クリスマスをお祝いする家庭はあまり多くないそうです。

園では12月に入ると「クリスマス会はいつ?」「サンタさんは来る?」と子どもたちがぞくぞくと聞きにやってきました。早くからクリスマスを心待ちにしているようでした。

今年は日中と夜に2つイベントを行いました。日中は、日本では馴染みのあるオリエンテーションを行いました。子どもたちに新しい事に挑戦してほしいという思いと、チームの皆で協力して何かを成し遂げる達成感を得てほしいという思いから企画しました。

園内に隠されたカードを探し、カードごとに出题される問題を解いていくというもので、問題は小さい子が絵を描いて他の子が何を書いているかを当てるものや、英語や日本語の問題など、小さい子から大きい子までチーム全員の力が必要になるように工夫しました。

スタート開始の合図、子どもたちはカードを探しに全力疾走。カードをすぐに見つけるチーム、問題に苦戦するチーム、チームのメンバーがはぐれてしまうチーム等、チームそれぞれの色が出ていました。



グループで協力し問題を解いていきます



優勝チーム 皆一人ひとり頑張りました



サンタさんからの小さな贈り物

早くゴールした上位3チームを見ると、リーダーがどれだけチームをまとめたか、チームがルールを守れたかで勝敗が決まったようです。反省点もありましたが、皆積極的に参加しとても盛り上がりました。

夜はお待ちかねのサンタさんの登場で皆大喜びです。まずはサンタさんが子どもたちにサンタクロースの物語を話してくれました。そして「僕は良い子のところにしか来ないんだよ。だからみんな来年も良い子でいるんだよ」と言って一人ずつにプレゼントが手渡されました。

クリスマス会の最後は、子どもたちからリクエストがあった子どもたちの小さい頃のビデオを作成し上映しました。皆幼く、体格も顔つきも変わり、園で着実に成長しているということ、その成長に大きく関わっているのだということに、支援者様への感謝の気持ちと、責任の大きさを感じました。

毎年子どもたちの元にサンタさんがやって来てくれるように、いつも素直で優しい子でいてほしいと思います。

高校3年生、卒業試験に向けて

年々難しくなっている高校卒業試験、今の高校3年生は先輩たちが試験に向けて頑張っていた姿も、思うような結果が出せなかったという現実も一番近くで見してきました。試験に対して大きな不安もありますが、絶対に合格するんだという強い気持ちを持って勉強に取り組んでいます。夜9時から高校3年生に勉強部屋を解放し、勉強に集中出来るよう、また子どもたち同士で勉強を教え合う事が出来るようにしました。ほぼ毎日夜中の12時頃まで勉強しています。

あっという間に試験日はやってきます。今年は全員が高校卒業試験に合格出来るように、一日一日を大切にしてほしいと思います。

双子の兄弟入園

ポーサット州出身のムーン・ソペアック（9歳男・小1）とムーン・ソッポワン（9歳男・小1）の双子の兄弟が入園しました。両親は二人が小さい時に家を出て行ってしまい、祖母と一緒に暮らしていましたが、祖母も心臓に病気があり、一人で面倒を見るのが難しく、ポーサット州にある短期入園型の孤児院に入園していました。しかし親戚等の引き取り手がなく、園で引き取ることになりました。

入園当日はほとんど口を聞かず、話し掛けても逃げてしまっていました。その日のうちに他の子どもたちと一緒に遊び始め、職員に甘えてくるようになりました。二人が早く孤児院の環境になれて安心して生活出来るように寄り添っていきたいと思います。



学校の勉強を復習しています



左:ソッポワン(弟) 右:ソペアック(兄)



すぐに新しい友だちが出来ました